

明るい恵那

2017年9月3日
第1671号
日本共産党
恵那協議会
恵那市大井町735
電話 26-3603

共産党岐阜県委員会が予算要望

リニア、鳥獣害など188項目

水野、遠山市議 恵那市民の要求訴える

8月29日、共産党岐阜県委員会は中川ゆう子県議、地方議員ら30人が参加し県庁で来年度予算に関する要望書（188項目）をもとに県当局と交渉しました。

初めに高木光弘書記長が挨拶で北朝鮮弾道ミサイルあつ者に抗議するとともに、米朝が無条件で話し合いのテーブルに着き、武力衝突にならないよう「対話による解決」を主張し、また今年1月の岐阜県知事選挙候補者として県下を回り、全域から寄せられた「暮らしと福祉、教育を充実し、地域経済の応援を」という声に添えて欲しいと訴えました。

県の坂口総務部長が「たくさんさんの要望について、できるものについてはこれから編成する来年度予算に反映していきたい」と挨拶の後、各担当部署とやり取りしました。

リニア JRの中心線測量は各地で問題あり

リニアについては、水野功教市議が地盤沈下などトンネル工事の安全の保証や、ウラン残土が出土した場合の安全対策、水枯渇、変電所・送電線からの電磁波の影響、残土処理など自然環境生活環境などの課題について、県や自治体は県民・県土の安全、環境を守るために努めることが任務であること訴えました。

市内長島町では中心線測量について、JR東海は地権者の同意も曖昧なまま杭を打ち、後日抗議されて杭を抜いています。同意を得た時の記録の公開を求めています。いまだこれに添えていません。これについて、県の課長は「このような意見はこの場だけでなくほかからも頂いている。今後JRに対応を伝えていく。」と答えるのみでした。（以下次号）

長島町は文化センター駐車場でマンホール・トイレ設営など

市内各地で防災訓練

9月3日午前8時から全市で防災訓練が実施されました。長島町では10時から長島小学校体育館に100人余が集まり、避難所の開設と運営、非常食の炊き出し、洗濯場の設置など実演しました。文化センター駐車場に新たにできたマンホールを使って仮設のマンホールトイレの設営など、実際の災害時に少しでも混乱しないよう問題点の抽出に精力的に取り組みました。



防災士から非常食の指導を受ける

石も道具に



文化センター駐車場の西側のマンホールに便器をセットし遮蔽枠を設置。（「枠はすぐ近くに無いと使えない」と指摘）

恵那市議会 9月議会 一般質問 過去最低 一般質問わずか7人 過去最低

子育て、リニアなど恵那市の課題について

いま議会では
議会の華とも言われる一般質問、9月議会は過去最低の7名が通告したのみです。質問時間は隣市でも最も短い40分です。行政をチェックすることが議会の大事な任務です。最近何かと議員が話題になっています。市民の目にはどのように映るのでしょうか。

9月25日（月） 10時から

1、安藤直実（市民ネット）

①ひとり親支援について

②財政について

2、遠山信子（共産党）

①市民にやさしい公共交通

・交通難に寄り添って

②子育てのまち

・子ども達の発達と市民のねがい

（10時半過ぎ）



3、水野功教（共産党）

①来年度予算、社会保障制度は憲法13条を守って

・国民健康保険の広域化について

・ひとり親家庭支援について

②リニア中央新幹線、トンネルの区分地上権について

・この土地の所有権は恵那市民にある

（11時過ぎ）

4、町野道明（公明党）

①政策づくりについて

5、堀 光明（新政会）

①マイナンバーカード（個人番号）について

②教育の充実

9月26日（火） 10時か

ら

6、堀 誠（無所属）

①リニア中央新幹線の課題

とまちづくりについて

②第2時総合計画の実施計画について

画について

7、橋本平紀（新政会）

①恵那市におけるAI（人工知能）の活用推進

口知能）の活用推進

北朝鮮の核実験を厳しく糾弾する

——危機打開のため直接対話がいよいよ緊急・切実な課題に

2017年9月3日 日本共産党幹部会委員長 志位和夫

一、北朝鮮は本日、昨年9月に続く6回目の核実験を強行した。北朝鮮は、「ICBM（大陸間弾道ミサイル）搭載の水素爆弾の実験を成功させた」と主張している。

北朝鮮の核実験は、今年だけでも13回行った弾道ミサイル発射とともに、世界と地域の平和と安定にとっての重大な脅威であり、累次の国連安保理決議、6カ国協議の共同声明、日朝平壤宣言に違反する暴挙である。それは、国際社会が追求している「対話による解決」に逆行する行為であり、核兵器禁止条約の採択など「核兵器のない世界」を求める世界の大勢に逆らうものである。

日本共産党は、強い憤りをもって、この暴挙を糾弾し、抗議する。

一、いまの最大の危険は、米朝両国の軍事的緊張がエスカレートするもど、当事者たちの意図にも反して、偶発的な事態や誤算などによって軍事衝突が引き起こされる現実の可能性が生まれ、強まっているということである。万が一にもそうした事態が引き起こされるならば、その被害は日本にも深刻な形で及ぶことになる。おびただしい犠牲をもたらす軍事衝突は、絶対に回避しなければならない。

私は、8月12日に発表した「声明」で、現在の危機の打開のためには、米朝の直接対話が必要だと提起したが、それはいよいよ緊急で切実な課題となっている。

北朝鮮の相次ぐ暴挙に対する日本共産党志位委員長の抗議声明を紹介します。

一、北朝鮮に対して、これ以上の軍事的な挑発を中止することを厳重に求める。米朝両国に対して、強く自制を求めるとともに、現在の危機を打開するために、直接対話に踏み出すことを重ねて呼びかける。

8月29日の国連安保理議長声明は「対話を通じた平和的で包括的な解決」を加盟国に呼びかけている。国際社会および日本政府に対して、米朝両国に直接対話をうながし、平和的・外交的な手段で核・ミサイル問題を解決するために、可能なあらゆる手立てをとることを強く要請する。

とくに日本政府が、「対話否定論」に固執する態度をあらため、「いまこそ対話に踏み切るべきだ」ということを米国政府に説くことを、強く求める。

北朝鮮の弾道ミサイル発射に厳しく抗議する ——対話による解決に逆行する行為を中止せよ

2017年8月29日 日本共産党幹部会委員長 志位和夫

一、北朝鮮は、本日、国際社会が強く自制を求めているもど、弾道ミサイルの発射を強行した。これは、世界と地域の平和と安定にとっての重大な脅威であり、累次の国連安保理決議などに違反する暴挙である。通告なしに日本列島の上空を飛び越える発射は、きわめて危険な行為である。日本共産党は、厳しく糾弾し、抗議する。

とりわけ、今回の発射は、米国を含めて国際社会が対話による解決を模索しているもど、それに逆行する性格をもつ行為であることを、強調しなければならない。

一、世界と地域の平和と安定を破壊し、おびただしい犠牲をもたらす軍事衝突は絶対に回避しなければならないことを、重ねて強調する。

北朝鮮に対して、これ以上の軍事的な挑発を中止することを厳重に求める。国際社会および関係国に対して、経済制裁の厳格な実施・強化と一体に、対話による解決の道を粘り強く追求することを、強く要請する。